

● 使用前の注意

1. オイルスプレーでセンサー先端部にオイルを少量塗布することによって、水切れがよくなります。※写真1
2. ロープ式水位計はドラムにメジャー用ロープが若干余裕をもって巻き込まれておりますが、ロープ先端はドラム内部に特別固定しておりません。
規定長ぎりぎり、もしくはそれ以上の深さの計測にお使いいただく時は、コネクタ部からロープが外れて落下する恐れがあります。

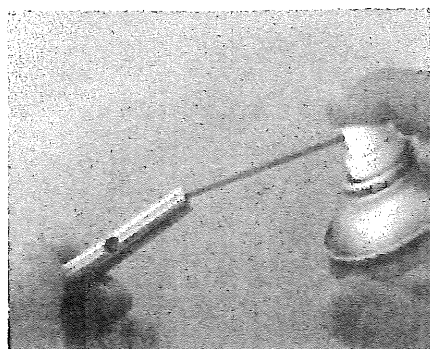


写真1

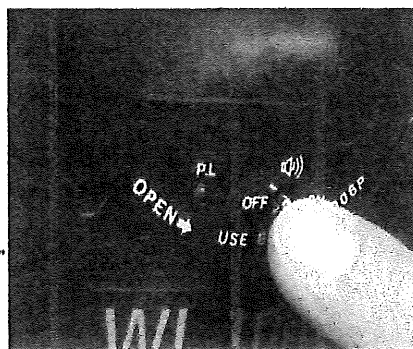


写真2

3. TYPE2 及び TYPE3 は、スイッチを OFF にすると、水面検出後、赤色ランプ表示のみとなります。(ブザーは鳴りません。) ※写真2
4. この水位計には電源スイッチはありません。(水面を検知すると自動的に電源が入ります。) 長時間使用しない時は電池をはずしておいてください。
5. TYPE3 の温度計はサーミスタを使用しているため、精度は良くありません。

**！ 電池は急に消費することがあります。
必ず予備をお持ちください。**

**！ 本器を水位計測以外の目的でご使用になり発生したトラブル等
には責任を負いかねます。**

**！ ユーザー様が改造を加えられた製品につきましては修理対象外と
なりますのでご注意ください。**

● 故障時等の対応

1. 水面を検知してもブザー音が小さい場合、新品の電池（使用期限内のもの）に交換してください。

キャップを左（時計針の逆方向）にゆっくり回します。※写真3・4

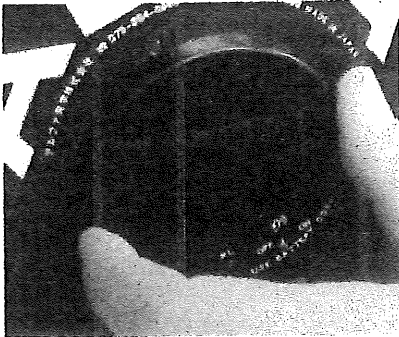


写真3



写真4

2. 温度計の電池は、円形アルミ板のビス2本を外し、アルカリボタン電池（LR-44）を交換してください。※写真5・6

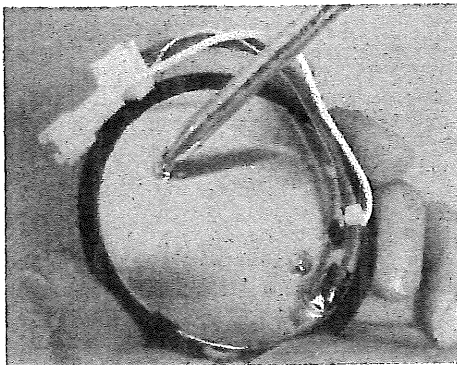


写真5

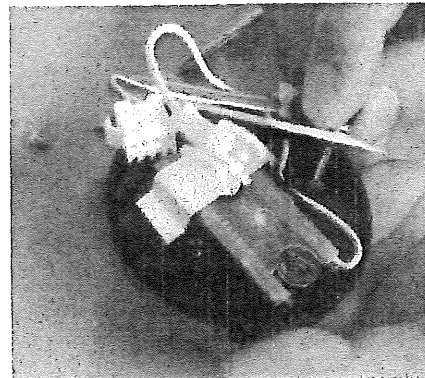


写真6

3. 水面を検知しても反応がない場合

a: 検知センサーとロープの接続部、あるいはどこかでステンレスワイヤーが切れています。（この場合、アンプ側コネクターに、細いドライバーか釘の先を入れるとブザーが鳴ります。）

b: アンプチェックで作動しない時は、弊社にてアンプ部を交換します。

4. 水面よりセンサーを上げててもブザー音が切れない場合

a: センサーの先端部をクリーンにします。

b: センサーとロープの接続部にプラスチックを使用しているため、衝撃や経年変化で隙間ができ、そこから水がセンサー内に浸透することがあります。

（弊社にて修理）

応急処置としては、良く乾燥させてから隙間に瞬間接着剤を注入します。